PROVIDENT TITLE COMPANY

ほとんどのサービサーは、来年は差し押さえが増えると予想している

2022 年 9 月 — 主要な不良不動産市場である Auction.com は、2022 年のセラー インサイト レポートをリリースしました。レポートによると、このプラットフォームを利用する 10 の住宅ローン サービスのうち 9 つは、今後 12 か月で差し押さえの量が増加すると予想しています。

Auction.comのジェイソン最高経営責任者（CEO）は、「パンデミック時代の抵当権実行保護のほとんどが期限切れまたは縮小している現在、政策立案者と住宅ローンのサービサーによるパンデミックへの積極的な対応が、危機によって引き起こされた恐れられていた差し押さえの波を回避するのに役立ったことは明らかです」と述べています。オールナットは言った。「デフォルト・サービシング業界のほとんどは、差し押さえが来年にかけて徐々に増加すると予想していますが、パンデミック前の過去の平均よりも、差し押さえを回避する延滞住宅ローンの割合が高くなると予想しています。」

Auction.com の 50 を超える顧客から収集したデータに基づいて、このレポートは、パンデミックによる不良住宅ローンの未処理分が、今後 12 か月間の不良債権処理量に最も大きな影響を与えると予想され、規制介入や景気後退を打ち負かすことも示しました。、ホームエクイティと金利。

この調査では、サービサーに深刻な延滞 (SDQ) の住宅ローンの在庫の結果についても尋ねました。これらの住宅ローンの多くは、COVID-19 パンデミックの初期に制定された猶予プログラムによってもはや保護されていません。

平均して、回答者は、2022 年 6 月時点での SDQ 在庫の 23% が今後 12 か月以内に差し押さえオークションにかけられると予想していますが、20% のクライアントは、SDQ 在庫の 30% 以上が今後 12 か月以内に差し押さえオークションにかけられると予想しています。月。

SOURCE: Dodd Frank Update https://bit.ly/3QBaxj4